

3 社会性や思いやりの心をはぐくむ体験活動

幼稚園と小学校の連携により社会性や思いやりの心をはぐくむ指導事例【幼稚園・小学校】

本事例は、思いやりの心や互いを認め合い支え合う心、責任感や主体性、社会性などの育成を目指し、小学校と幼稚園が連携して、人とのかかわりを重視した様々な体験活動を行った実践です。指導に当たっては、幼児や児童が積極的にかかわりながら、互いに助け合うことの大切さを実感できるようにするとともに、リーダーシップを発揮したり、相手の気持ちを考えて行動したりするなど、自分の役割を自覚し相手の立場になって考えて行動する場面を意図的に設定するなどの工夫をしています。

幼児や児童の主体性を支える共通理解

社会性や思いやりをはぐくむ、意図的、計画的な活動の実現

保護者と幼稚園・学校との連携

(1) 教員間の連携の在り方

人とのかかわりを深める体験活動を通して、社会性や思いやりをはぐくむために、幼児や児童が主体的に活動できるようにすることが必要です。そのためには、幼稚園年長児担任や小学校第1学年担任など、体験活動にかかわる教員が活動の意義や見通しをしっかりと持つとともに、協議を行うなどして、共通理解を図り、臨機応変に活動を支えていくことが重要です。

(2) 連携に基づいた計画づくり

幼・小連携の活動を担当した幼稚園年長児担任と小学校第1学年担任は、幼児や児童の実態等を交流しながら、「1年間で育てたい社会性や思いやりの心」を設定し、これを具現化するために体験活動の年間計画を作成しました。

計画に基づき、4月から「遊び」を中心とした交流が継続的に行われ、幼児や児童との間に人間関係が築かれていきました。

9月には、自然を題材とした社会性や思いやりの心をはぐくむ活動を設定しました。幼児や児童は、人とかわることの楽しさや相手の気持ちを考えて行動することの大切さを実感し、次の活動への思いや願いを抱き、この姿から、社会性や思いやりの心がはぐくまれていることを実感しました。

(3) 保護者と共に心をはぐくむ体験活動の実施

幼稚園と学校が連携した体験活動と併せて、保護者の体験活動に対する理解や保護者間の連携を図る場面を幼稚園、学校が意図的に設定することが必要です。それによって、幼稚園・学校と家庭など、様々な面から園児や児童の社会性や思いやりの心の伸長に努めることができるとともに家庭の教育力を向上することができると考えます。

〔具体的な活動〕

- 合同活動参観…実態把握と教育方針の共通理解の実現。
- 保護者間交流会…子育てに関する情報交換の活発化。
- 保護者研修会…専門家による講演等による子育ての再考の促進。
- 幼・小PTA合同主催行事…多面的な子ども理解の促進。

年長児と第1学年児童合同の体験活動の実践例「秋を感じて楽しもう」

〔「1年間で育てたい社会性や思いやりの心」〕

年長児	・いろいろな人に優しい気持ちで接する。【心情】 ・自分の感じたこと、思ったことを積極的に伝える。【意欲】 ・人とのかかわりを深めていくための望ましい態度に気付く。【態度】	第1学年	・楽しんで計画や準備をする。【関心・意欲・態度】 ・相手が楽しむための内容や方法を考える。【思考・判断】 ・自分の気持ちを分かりやすく伝える。【技能・表現】 ・計画から実践までの進め方が分かる。【知識・理解】
-----	---	------	---



〔年間計画〕

	活動名	共通のねらい	活動内容	保護者の活動
4月	幼稚園で遊ぶ	幼稚園での「遊び」を通して、人間関係を築く。	園庭等の遊具を使いながら、一緒に遊ぶ。	合同活動参観
9月	秋を感じて楽しもう	秋の訪れを五感を通して体験し、自然の豊かさに気付く。	校庭で自然物を探し、工作をする。	合同活動参観 第2回保護者研修会
3月	修了証書を贈ろう	1年間の取組の成果を互いに気付き、認め合う。	1年間の活動を振り返り、互いの成長を記し、交流する。	合同活動参観



〔ねらい〕

年長児	第1学年
・自然に対する豊かな感性を持つ。【心情】など	・身近な自然物を利用する活動を通して、秋を積極的に体感する。【関心・意欲・態度】など

〔活動内容〕

〈活動1：校庭宝物探し〉 ・おもしろい形の種や、きれいな色の葉を探す。	〈活動2：宝物でプレゼントを作ろう〉 ・校庭で見つけた自然物を使い、互いにプレゼントを作る。
--	---



〔感想〕

- ・A君（第1学年児童）に高い所のどんぐりをとってもらって、うれしかった。〔年長児〕
- ・種でアクセサリを作ったら、Cちゃん（年長児）が喜んでくれた。〔第1学年児童〕
- ・来年、D子（年長児）が1年生として幼稚園児のお世話をする姿が今から楽しみだ。〔年長児の保護者〕
- ・年長児のお世話をする1年生の姿から、やさしい気持ちが育っていることを感じた。〔第1学年児童の保護者〕

〔次の活動への思いや願い〕

- ・年中さんを自分たちが計画した「遊び」に招待したい。〔年長児〕
- ・秋の遠足に幼稚園のお友達と一緒にいき、いろいろな遊びをもっと教えてあげたい。〔第1学年児童〕
- ・活動を見て、感じたことや気付いたことを他の保護者の方と話し合ってみたい。〔年長児の保護者〕
- ・今回の活動をPTA合同主催行事に生かしていきたい。〔第1学年児童の保護者〕

◆実践のポイント◆

異校種間の連携

様々な人との交流を通して、互いを認め合い助け合う思いやりの心をはぐくむよう工夫しています。

保護者と幼稚園・学校及び保護者間の連携

連携の趣旨やねらいについて保護者の理解が深まり、家庭と学校が一体となって様々な活動を推進するよう工夫しています。

学校と地域が連携した体験活動の指導事例

本事例は、地域の小・中・高等学校が中心となり、役場や教育委員会、観光協会等の関係機関や町内組織と協力して、地域ぐるみで海水浴場の清掃活動に取り組んだ実践です。児童生徒が自己有用感や他者とのコミュニケーションの大切さを実感したり、地域に住む様々な世代の人たちとの交流を通して、相手を信頼する気持ちや思いやりの心などを身につけることができるよう工夫しています。

活動のねらいの重点化

(1) 活動のねらい

本事例は、小・中・高等学校が合同で行う地域と連携した体験活動により、他者とのかかわりを通して豊かな人間性や社会性をはぐくむことを主なねらいとしています。また、奉仕活動を中心とした活動であることから、自己有用感や思いやりの心を育成する上でも効果が期待できます。

- 異年齢集団での活動による相手を信頼する気持ちや相手の立場を考え、助け合ったり、思いやったりする心の育成
- 地域ぐるみの活動による社会性や望ましい人間関係の形成
- 社会奉仕体験活動による自己有用感及び自尊感情の高揚

学校のリーダーシップ

(2) 学校間及び地域との連携の在り方

地域との連携は、学校が積極的にリーダーシップを発揮して地域に働きかけていくことが大切です。本事例では、学校が始めた取組が教育委員会を通して地域に広まり、地域が協力体制を整えていくことで、連携の輪が広がっていきました。

〈活動の広がり〉

- 平成元年～高等学校が「海水浴場クリーン作戦」を実施
- 平成12年～個別に海浜清掃を行っていた小・中学校と高校が合同で実施
- 平成13年～役場職員約20名が応援参加
- 平成14年～観光協会、商工会、村の婦人連合会などが順次参加

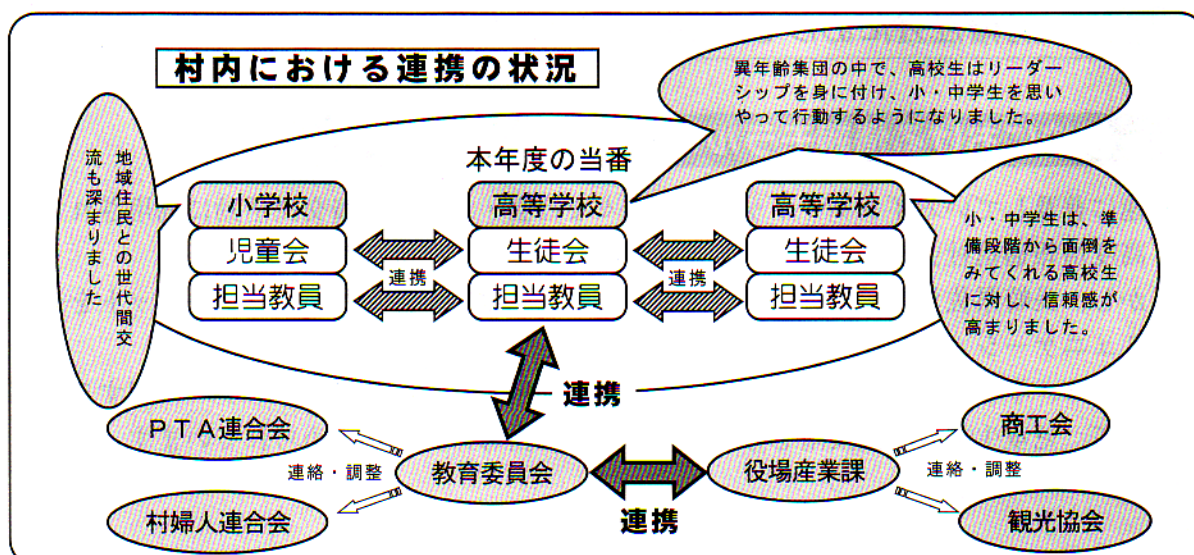
人と人とのつながり

(3) 活動を通じた、望ましい人間関係の形成

小・中・高校生の縦割りグループのリーダーになった高校生が、小・中学生に清掃場所を指示したり、ごみの分別方法を教えるなど、リーダーシップを発揮しながら、互いに励まし合い、協力して活動する姿が見られました。

また、活動の中で地域の関係機関・団体等の参加者が積極的に児童生徒に話しかけてコミュニケーションを図ることに努めたことにより、児童生徒は地域社会の一員としての自覚を深め、地域を大切にしようと思う気持ちが芽生えてきました。

小学校・中学校・高等学校と地域の合同海浜清掃



実施上の留意点

- 地域の全児童生徒を、事前に小・中・高校生を縦割りにした8名程度の24班に編成し、担当地域に割り当てる。各班は、小学生3～4名、中学生2～3名、高校生1～2名をめどとする。
- 各班のリーダーは高校生、サブリーダーは中学生とする。リーダーは、班員、特に小学生の安全確保等に注意しながら、班内で協力し合って担当地域の清掃活動及び回収したゴミの分別を行う。
- 婦人連合会は各班に入り、児童生徒と一緒に活動する。また、役場職員、各学校の教員等は、それぞれグループになって清掃活動をしながら、児童生徒とコミュニケーションをとることに努める。

3校の児童生徒は、児童会・生徒会役員合同の準備会議や反省会、海水浴客への啓発看板の作成など、様々な場面で協力しながら、お互いを認め合っています。

○高校生の感想

今年は、小・中学生、村の人たちとの「協力」を目標に頑張りました。
小・中・高の交流を深めることもできるので、これからも合同でやった方がいいと思います。

○役場職員の感想

この活動を通して、子どもたちには、集団行動などの社会性、共同作業による仲間との助け合いや思いやりの心などの面で成長が見られました。
また、地域そのものといっているほどかけがえのない財産である海を自分たちで守っていくという、郷土を思う気持ちもはぐくまれています。
一般の地域住民も参加していますが、普段接する機会の少ない子どもたちと世代を越えた交流が生まれ、地域の絆が一層強まりました。

◆実践のポイント◆

豊かな人間性や社会性の育成

異年齢集団や世代間交流など、様々な他者とのかわりの中で、信頼感や思いやりの心、社会性、自己有用感などを育成することができるよう工夫しています。

地域に対する学校からの働きかけ

学校の教育活動に、積極的に地域を巻き込み、地域ぐるみの活動にしていくとともに、地域の連携体制や窓口の明確化を図るなどの工夫をしています。